

耳のブックリスト

音は聞こえるのに、会話が聞こえない？

※資料は貸出中の場合があります

『聴覚・ことば』重野純著 新曜社 2006年3月刊

人間は音をどのように認識しているのか。耳に音が伝わるしくみをやや専門的に解説する。若者の間で増えているヘッドホン難聴や、加齢によって起こる老人性難聴とは何か。また難聴の予防策についてもふれる。

『空耳の科学ーだまされる耳、聞き分ける脳ー』

柏野牧夫著 ヤマハミュージックメディア 2012年2月刊

空耳こそが、世界を認識するための脳の巧みな戦略でもある。人は音をどのように聞いているのか、そもそも音とは何か。耳が良いとはどういうことなのか。著者が科学と音楽に関心をよせる高校生たちに語った講義録。

『人生の途上で聴力を失うということ

ー心のマネジメントから補聴器、人工内耳、最新医療までー』

キャサリン・ブートン著 明石書店 2016年1月刊

著者はマスコミで働いていたが、聴力を喪失した。専門家や同じ障害を抱える人々取材して、原因、対処法、生活上のアドバイスをまとめたノンフィクション読物。

『難聴に関するガイドブック「難聴者、自立を」ー補聴器・周辺機器編ー』

中園秀喜編 田中美郷監修 ベターコミュニケーション研究会 2011年3月刊

難聴や聞こえにくくなった場合に役立つ情報がまとめられた冊子。補聴器の種類や比較の一覧表や、補聴器、人工内耳、助聴器の違いについても説明している。WEB版でさらに詳しい情報を読むことができます。

その他にも図書館ではたくさんの資料があります。

どうぞご利用ください！

